

出版記念講演会

高野 彰

『洋書の話』を語る

2015年3月14日[土]

14:00-16:00 *13:30より受付

会場

東洋美術学校 D棟 学生ホール

161-0067 東京都新宿区富久町 2-6

聴講料：2,000円

朗文堂

本は、かつて、著者の考えを伝える唯一の大量伝達手段であった。権力者はその怖さを十分に認識し、様々な形で、本の出版に難癖を付けてきた。それが、洋書で言えば、ヴァチカンの『禁書目録』(Index Librorum Prohibitorum)であり、権力者側の「出版許可」(Imprimatur)である。『禁書目録』は内容の訂正ではなく、出版自体の禁止であるが、「出版許可」であれば、不都合な部分を修正すると、出版の認められる可能性がある。しかし、修正や訂正は他からの圧力だけとは限らない。著者自身が行う場合もある。変更は容易に行えた。印刷機が手動のため、機械を止めて簡単に手直し出来たからである。

公的にしろ、私的にしろ、変更が解明できれば、著者がどんな考え方をしていたかを理解する糸口が得られる。それを解く最初の鍵が印刷作業に関わる知識である。講演会では権力者の行った出版認可や許可、出版物に現れる変更の様子などを、図で示しながら振り返ってみる予定である。



2015年3月14日 高野 彰

●要申し込み登録：3月2日[月]申込締切

E-mail : robundo@ops.dti.ne.jp

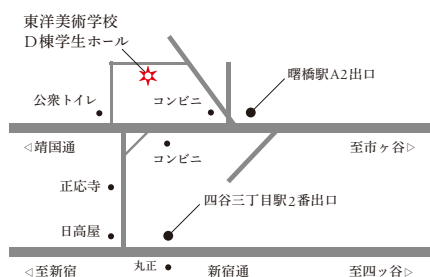
●定員40名

3営業日以内にお断りの返信が無い場合は受付完了とさせていただきます。

<http://www.ops.dti.ne.jp/~robundo/>
詳細は上記朗文堂NEWSブログをご覧ください。
ブログからの申し込み登録もできます。

地図・アクセス

都営新宿線 曙橋駅A2出口下車 徒歩8分
東京メトロ丸ノ内線 四谷三丁目駅2番出口下車
徒歩10分



主催：株式会社 朗文堂

後援：学校法人専門学校 東洋美術学校 産学連携事務局・デザイン研究会 アクティ